



2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ファイバークート 上場取引所 東 札
 コード番号 9450 URL https://www.fibergate.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 猪又 将哲
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 濱渦 隆文 TEL 011(204)6121
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 (四半期決算補足説明資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績 (2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	2,591	14.8	480	66.5	480	71.6	337	85.2
2022年6月期第1四半期	2,258	6.1	288	△29.2	279	△30.5	182	△33.5

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 337百万円 (85.2%) 2022年6月期第1四半期 182百万円 (△33.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	16.53	16.53
2022年6月期第1四半期	8.93	8.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	12,936	3,524	27.3
2022年6月期	13,087	3,279	25.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 3,524百万円 2022年6月期 3,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2023年6月期	-	-	-	-	-
2023年6月期(予想)	-	0.00	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	21.4	2,020	22.2	1,960	22.2	1,300	21.1	63.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	20,591,200株	2022年6月期	20,591,200株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	191,744株	2022年6月期	191,744株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	20,399,456株	2022年6月期1Q	20,389,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益金額 (円、銭)
2023年6月期 第1四半期	2,591	480	480	337	16.53
2022年6月期 第1四半期	2,258	288	279	182	8.93
前年同期比	333	191	200	155	7.60
増減率	14.8	66.5	71.6	85.2	85.1

当第1四半期連結累計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着きを見せ行動制限が緩和されたものの、国際情勢の不安定化や急激な円安の進行が加速しており、引き続き今後の感染症の動向や景気変動について注視が必要な状況となっております。

このような状況下で当社グループは「すべての施設にWi-Fiを」をキーワードにビジネスユース事業はホテル、病院、介護施設、公共機関を中心とした需要の掘り起こしを進めるとともに、ホームユース事業についてはIoTや再生エネルギーなどの利便性や環境貢献も追求することにより賃貸住宅オーナーや居住者への訴求に努めてまいりました。

(事業セグメント)

ホームユース事業におきましては、新築案件の導入も徐々に進んでおりサービス提供戸数が堅調に推移しております。

2022年9月に発生した通信障害対応に関連する復旧コスト、円安、半導体不足による機器の製造コスト等のコストは引き続き増加傾向にありますが、売上高の増加によりコスト増加の影響を抑えることができました。

以上の結果、ホームユース事業は売上高2,256百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益671百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

ビジネスユース事業におきましては、新型コロナウイルスによる行動制限の緩和などに伴いバスやイベント等の屋外向けのWi-Fiが回復傾向にあります。さらに直近の観光ニーズの高まりを受けて、注力しているホテル等の観光施設向けのWi-Fiサービスの営業展開を強化しております。

また、その他注力している病院、介護施設向けWi-Fiについてはビジネスパートナーが順調に増加しており、ビジネスパートナーとの連携による営業展開を進め、第2四半期以降も成長を加速してまいります。

その他、子会社である株式会社FG-Labでは得意先ごとの個別要望に対応した機器の開発案件を受注しております。

一方で、円安や半導体不足による機器の製造コストの増加や新規案件獲得を目指した人員増加により人件費が増加傾向にあります。

以上の結果、ビジネスユース事業は売上高329百万円（前年同期比28.0%増）、セグメント利益46百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

不動産事業におきましては、株式会社FGスマートアセットが保有する新世代SDGsエコロジーマンションであるReunir Gracias川口の賃貸収入があるものの、当第1四半期時点では不動産の販売はありませんでした。

以上の結果、不動産事業は売上高5百万円（前年同期比92.3%減）、セグメント損失6百万円（前年同期はセグメント利益5百万円）となりました。

その他の事業におきましては、株式会社オフグリッドラボの研究開発費等の費用負担がありました。

以上の結果、その他の事業は売上高0百万円（前年同期は売上なし）、セグメント損失2百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,591百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益480百万円（前年同期比66.5%増）、経常利益480百万円（前年同期比71.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益337百万円（前年同期比85.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	増減率 (%)
総資産 (百万円)	13,087	12,936	△1.2
純資産 (百万円)	3,279	3,524	7.5
自己資本比率 (%)	25.06	27.25	8.8
1株当たり純資産 (円)	160.74	172.79	7.5
借入金の残高 (百万円)	6,500	5,975	△8.1
社債の残高 (百万円)	150	100	△33.3

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ150百万円減少し12,936百万円となりました。これは、流動資産が93百万円減少し、固定資産が57百万円減少したこと等によるものであります。

流動資産の減少は、売掛金及び契約資産が77百万円、商品が234百万円増加しましたが、現金及び預金が471百万円減少したこと等によるものであります。固定資産の減少は、当社通信サービス提供用の通信設備が256百万円増加したものの、土地建物売却に伴い建物143百万円、土地106百万円が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ396百万円減少し9,411百万円となりました。これは、買掛金が317百万円増加した一方で、銀行借入金の返済を進めたことにより長期借入金（1年内返済予定含む）が510百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し、3,524百万円となりました。これは、利益剰余金の増加245百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月13日に発表しました「2022年6月期 決算短信【日本基準】(連結)」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(連結業績予想)

(単位：百万円)

	2022年6月期 (実績)	2023年6月期 (予想)	対前期増減率
売上高	10,624	12,900	21.4
営業利益	1,652	2,020	22.2
経常利益	1,604	1,960	22.2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,073	1,300	21.2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	1,832
売掛金及び契約資産	1,572	1,650
商品	654	888
販売用不動産	1,426	1,486
貯蔵品	0	1
前渡金	0	—
前払費用	61	64
その他	15	18
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	6,028	5,935
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	384	240
工具、器具及び備品（純額）	35	32
通信設備（純額）	5,549	5,806
リース資産（純額）	2	1
構築物（純額）	22	13
土地	209	102
建設仮勘定	0	12
有形固定資産合計	6,204	6,209
無形固定資産		
のれん	102	96
ソフトウェア	89	98
ソフトウェア仮勘定	20	8
水道施設利用権	2	1
無形固定資産合計	214	205
投資その他の資産		
投資有価証券	51	52
敷金	34	33
繰延税金資産	550	497
破産更生債権等	0	0
その他	2	2
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	637	585
固定資産合計	7,057	6,999
繰延資産		
創立費	1	1
社債発行費	0	—
繰延資産合計	1	1
資産合計	13,087	12,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	478	795
短期借入金	718	703
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	1,832	1,800
リース債務	2	1
未払金	192	242
未払費用	24	26
未払法人税等	181	162
契約負債	1,958	1,875
賞与引当金	80	42
株主優待引当金	32	2
その他	93	73
流動負債合計	5,645	5,727
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	3,950	3,471
繰延税金負債	75	75
退職給付に係る負債	36	36
その他	0	—
固定負債合計	4,162	3,683
負債合計	9,808	9,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	411	411
利益剰余金	2,572	2,817
自己株式	△200	△200
株主資本合計	3,277	3,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
純資産合計	3,279	3,524
負債純資産合計	13,087	12,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,258	2,591
売上原価	1,201	1,286
売上総利益	1,056	1,304
販売費及び一般管理費	768	823
営業利益	288	480
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
為替差益	—	3
保険解約返戻金	—	2
その他	0	1
営業外収益合計	0	7
営業外費用		
支払利息	5	7
為替差損	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	8	7
経常利益	279	480
特別利益		
固定資産売却益	—	24
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	24
特別損失		
固定資産除却損	5	8
減損損失	0	—
特別損失合計	5	8
税金等調整前四半期純利益	275	495
法人税、住民税及び事業税	21	106
法人税等調整額	71	52
法人税等合計	93	158
四半期純利益	182	337
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	182	337

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	182	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	182	337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182	337
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,930	257	70	2,258	—	2,258	—	2,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,930	257	70	2,258	—	2,258	—	2,258
セグメント利益又は損 失(△)	451	53	5	510	△5	505	△216	288

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△216百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	—	0	—	0	—	—	0

(注) 「全社・消去」の金額は、遊休資産に係る金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホーム ユース事業	ビジネス ユース事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,256	329	5	2,591	0	2,591	—	2,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,256	329	5	2,591	0	2,591	—	2,591
セグメント利益又は損 失(△)	671	46	△6	712	△2	709	△229	480

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー(電力)事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△229百万円は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント情報の変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「不動産事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。